**COMMANDING HEIGHTS 1**

**KEY QUESTIONS**

**The story develops around two economists: John Maynard Keynes and Friedrich von Hayek. What is the main difference in their ideas? Whose idea was more appealing to**

**governments, business, and workers in the industrialized and developing nations? Should**

**we have economy that is based on prices or on state?**

**SPECIFIC QUESTIONS (TAKE NOTESWHILE WATCHING)**

 [KN] Key Name; [KE] Key Event; [Q] Question;

**Cambridge University, 1940**

 [KN] John Maynard Keynes (economist)

→1888～1946。イギリスの経済学者。主著『雇用・利子および貨幣の一般理論』で自由放任経済では失業をなくし、完全雇用を実現することは出来ないと考え、雇用水準や生活水準は国全体の有効需要の大きさで決まるので、政府が積極的に経済に介入し、公共投資により有効需要を増やすことが完全雇用につながると論じた。

[KN] Friedrich von Hayek (economist)

→1899～1992。オーストリアの経済学者。貨幣・信用を重視した景気循環論を展開。また、自由な市場経済の優位性を主張。ノーベル賞を受賞。20世紀を代表するリバタリアニズム（他者の権利を侵害しない限り、各[個人](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%80%8B%E4%BA%BA)の自由を最大限尊重すべきだとする[政治思想](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%94%BF%E6%B2%BB%E6%80%9D%E6%83%B3)）思想家。

 [Q] Summarize key differences between the two economists’ ideas.

→ケインズは政府が市場に介入すべきだと主張し、ハイエクは、政府が経済に介入することは自由を脅かすと考え、放っておいても市場は自ら回復すると考えた。

　<内容まとめ>

ケインズとハイエクの思想の違いの説明。

**Europe 1910**

 [KE] The murder of an Austrian archduke in August 1914.

→サライェヴォ事件のこと。オーストリア皇位継承者（フランツ＝フェルディナント夫妻）を、パン＝スラヴ主義のグループに属していたセルビアの学生が暗殺した事件。第一次世界大戦の直接的な原因となった。

 [Q] What was the effect of the murder and resulting World War I in terms of market and state?

　→本当の世界経済が再登場するまでに80年かかり、人々は幻滅し、辛く思い、社会主義・共産主義がよりよい世界を約束するかのように思えた。

<内容のまとめ>

20世紀の初め、グローバリゼーションが進んだ。しかし、オーストラリアの皇太子が暗殺され、第一次世界大戦が引き起こされると、政治的・社会的に大変動が起き、社会主義や共産主義がよりよい世界を約束するかのように思われた。

**St. Petersburg, 1917**

 [KE] Russian Revolution

→三月革命……首都の食糧危機が原因で革命がおこり、ロマノフ朝の支配が終わった。ニコライ２世は退位に追い込まれ、ブルジョワジーを中心とする臨時政府が成立した。

　十一月革命……臨時政府はブルジョワ寄りで戦争を継続したため、労働者・兵士・農民らはパンと平和を求めてソヴィエトに結集し、二重権力の状態になった。しかし当初ソヴィエトの指導者が臨時政府に対して妥協的だったので、ボリシェヴィキの指導者レーニンはソヴィエト内部で権力を奪い、臨時政府を打倒し、社会主義政権を樹立した。

 [KW] Bolsheviks

→ロシア社会民主労働党が分裂した際、レーニンが率いた一派。「多数派」。党のメンバーを少数の革命家に厳しく限定して、武装革命の重視を主張した。

1918年の憲法制定議会の解散によって、ボリシェヴィキ独裁が実現。労働者階級独裁から一党独裁へ、やがてはスターリンの個人独裁への道をたどった。

 [KN] Vladimir Lenin

→ロシアの共産主義運動の指導者で革命家。マルクス主義を理論的に発展させて、レーニン主義の原理を樹立し、ロシア革命で実践した。

 [Q] What was Lenin’s position in relation to market and state?

→レーニンは貿易・通商と個人財産を持つことを犯罪と考え、人間による人間の搾取を終わらせると主張した。

<内容のまとめ>

ロシア革命。

**Cambridge University 1918**

<内容のまとめ>

ケインズはヴェルサイユ条約に怒り、身を引き、文明・進歩を破壊する最終戦を予測した。

**Vienna, 1919**

 [KN] Ludwing von Mises

 [Q] What was the basic stance of Von Mises on market and state (government)?

→市場は、人間と同じく、政府から干渉を受けるべきでない。

 [Q] According to Von Mises, what is the flaw of socialism, which seemed to promise a more just society?

→あるものにどれぐらいの価値があるのかに関して消費者と生産者に信号を送る適切に作動する能力のある価格制度を持っていないこと。（交通信号がないようなもの）

**Moscow, 1922**

 [Q] What was Lenin doing with his “New Economic Policy” in terms of market and

state? More market? More state?

→農夫は自分の作物を自由に売ってよく、自分の土地の所有を許された。小企業の開設は許されたが、政府が相変わらず経済全体を支配していた。

 [KW] Commanding heights of the economy.

 [KN] Joseph Stalin

→1879～1953。レーニンの死後トロツキーを失脚させ、1930年初頭には事実上の独裁権を掌握した。1928年以降五カ年計画を進めながら、反対派を粛清という名目で大量処刑する恐怖政治を行い、死ぬまで独裁政治を続けた。

 [KW] Central planning

 [Q] How did Stalin try to manage economy with his “central planning”?

→共産党が経済の全ての面を経営し、支配した。

**Vienna, 1923**

 [KW] inflation, hyperinflation

　インフレーション→物価がかなりの期間継続して上昇する現象。需要の伸びすぎによる需給のアンバランス、銀行信用の過度の膨張、労働生産性を上回る賃金の上昇などにより生じる。

　ハイパーインフレーション→短期間に物価が数十倍にも高騰する超インフレーション。日本における戦後インフレがその例。

 [Q] What was the impact of hyperinflation upon the middle class?

→中産階級の貯蓄を全滅させた。

 [Q] Why did Hayek see inflation as a threat to democracy?

→インフレーションにより資産を失った人たちからナチスが支持を受け、ヒトラーが台頭したから。

補足：ドイツのインフレ

高額の賠償金とルール占領の結果、ドイツの工業生産が停滞し物価が急上昇した。マルクの価値は大戦中の１兆分の１にまで下落し、人々の生活が破壊され、政治不安が高まった。

**New York, 1920s**

 [KE] Black Thursday (October 24, 1929)

→ニューヨーク株式市場で株価の大暴落が起きた1929年10月24日のこと。この語、アメリカ経済は恐慌となり、世界恐慌に続いて行った。

 [Q] What happened on and after Black Thursday? Were the markets effective in

stopping the downward spiral? Was the state effective?

→バブルがはじけて、価格が下落した。下落のらせんは止まらなかった。その後、人々はお金を引き出そうと銀行に殺到し、合衆国の半分ほどの銀行がつぶれた。人々はお金を稼いだり、払ったり、使ったり、消費する能力を失い、工場や製粉所が閉鎖された。失業者が大量に生まれた。　市場も政府も下落を止められなった。

**Europe, 1931**

 [KW] macroeconomics

→経済活動の法則性を国民総生産、投資・貯蓄・物価水準、雇用量・失業率などの集計値に基づいて分析する巨視的経済理論。今日では、国民所得の決定、経済成長、景気循環、安定政策等の理論が主要内容。ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』を出発点とする。

 [Q] Keynes was writing a book not only to save capitalism but also [democracy] from the rise of [fascism] and [totalitarianism ]

**Washington, D.C., 1933**

 [KN] Franklin Delano Roosevelt

→1882～1946。民主党出身。恐慌対策を確約して大統領選に勝利。大統領に就任後はニューディール政策を実行し、政府が積極的に経済に介入し景気の回復に努めるとともに、対外的には善隣外交を推進し中南米諸国との友好を深め、ソ連を承認するなどした。

 [KW] The New Deal

→ローズベルト大統領により実施された恐慌対策の総称で、政府が積極的に経済に介入した。修正資本主義、混合経済体制の最初の例といえる。具体的には、失業者救済、生産統制による農産物の価格支持、地域総合開発を志向したＴＶＡの設立、全国産業復興法の制定などの措置をとった。また、社会保証制度の樹立や画期的な労働保護立法であるワグナー法の制定などを実施した。

 [Q] What is the essence of the New Deal in terms of market and state?

“To regulate market (or capitalism) using the power of state”

**Cambridge University, 1936**

 [KW] John Maynard Keynes’ book (1936) “General Theory”

→ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』のこと。内容は[KN] John Maynard Keynes (economist)を参照

 [Q] Keynes’s solution to unemployment was for the government to spend the money to restore and maintain full employment.

**WorldWar II, 1941**

 [KE] World War II, 1941-1945

<内容まとめ>

第二次世界大戦中にケインズの考えが政府の理念として浸透した。合衆国政府がお金を借り、国民協力に投入すると、高い失業率が低くなり、大不況が消えた。

**London, 1944**

 [KW] Hayek’s book (1944) *The Road to Serfdom*

→『隷従への道』

 [Q] What was the main message in terms of market and state in Hayek’s *The Road to　Serfdom*?

→政府が計画をしすぎることは政府の権力の過剰肥大を意味し、政府の力があまりにも経済に及ぶと、自由が破壊され人間が奴隷となる。

 [Q] For Hayek, central planning was the first step to a totalitarian state. What was his solution to problems of unemployment?

→失業は耐えなければいけない痛みなので仕方がないとハイエクは考えた。

 [Q] In contrast to Hayek, Keynes advocated for more planning. Without planning or

“remedy,” what will we get, according to Keynes?

→ヒトラーやスターリンのような独裁者や戦争。

**New Hampshire, 1944**

 [KE] The Bretton Woods Conference

→1944年に連合国側代表が世界経済の建て直しのために開催した会議。ブレトン＝ウッズ協定が結ばれ、発展途上国の開発援助をおもな目的とする国際復興開発銀行（世界銀行）と、ドルを中心とする国際通貨体制の安定を目的とする国際通貨基金の設立を決定した。

　補足：ブレトン＝ウッズ体制

　　→金１オンス=35ドルとし、各国通貨をドル表示するという金・ドル本位制と、各国通貨のドル表示を固定する固定為替相場制をとる体制。

 [KN] The World Bank and the International Monetary Fund

→世界銀行：加盟各国からの拠出資金と借入金によって、長期資金を供給し、戦後復興と経済開発を援助する国連の機関。今日では、発展途上国の経済構造改革のための融資を主な業務としている。

　国際通貨基金：国際通貨問題に関する協議および協力のための機関。為替相場を安定させるために固定相場制をとり、国際収支の赤字国へは一時的に短期融資を行う。

 [Q] What was the objective of these Bretton Woods institutions (WB-IMF)? Whose

idea were the institutions based on?

→世界経済に安定をもたらし、1930年代のような失業と不況を防ぐことが目的で、ケインズの考えが基盤になっていた。

**V-E Day, 1945**

**Britain, 1945**

 [Q] The victory of the Labor Party (Clement Attlee) over the Conservative Party

(Churchill) led to the creation of “mixed economy.” What was the main

characteristic of the mixed economy in terms of market and state?

→新しく国有化された産業と個人企業が混在するようになり、福祉国家が生まれた。

 [KW] What is the name of the state leading the mixed economy? “Welfare state.”

→「福祉国家」：国民の最低限度の生活（ナショナル＝ミニマム）を保障するため、国による社会保障制度の充実と完全雇用の実現を目標としている国家の事。

 [KW] Scientific socialism

→マルクスやエンゲルスが確立した社会主義のこと。オーエンやサン＝シモン、フーリエらの社会主義は空想的であるのに対して、歴史的な見方や科学的なものの見方で構築した社会主義と言われている。

　第二次世界大戦後、ファシズムに対するレーニン・スターリンの計画経済の勝利により、科学的社会主義は優位にあるように思われて、世界の３分の１が革命や赤軍による制圧により社会主義国となった。

 [KE] The Cold War

→冷戦。第二次世界大戦中、米ソ両国は協力関係にあったが、戦後社会主義勢力が東ヨーロッパを中心に拡大したことから、両国の関係は悪化し、対立した。両国の直接の武力衝突には至らなかったが、軍備拡張競争やイデオロギー対立で一触即発状態だった。

**Switzerland, 1947**

 [KN] Milton Friedman (Economist, University of Chicago)

→アメリカ合衆国の経済学者で、保守的な考え方をもつ。

貨幣供給量の変化によって経済活動全体の動きが大きく左右されると言うマネタリズムの考え方を提唱した。

 [KW] Iron Curtain

→「鉄のカーテン」チャーチルが演説において使用した比喩的な表現。ソ連がバルト海のシュテッティンからアドリア海のトリエステを結ぶラインに「鉄のカーテン」をおろし、その東側に自らの勢力圏を構築している、と非難したもの。

<内容のまとめ>

ハイエクは社会主義思想と計画経済が自由を脅かすと考え、会議を開いた。ハイエクたちは世界は計画化に向かっており、その流れを相殺する思想の流れを開くべきだと主張した。会議の終わりでハイエクは、世界が考え方を変えないと２０年以上思想による対立が起きるだろうと予測した。

**Berlin, 1947**

 [KN] Ludwig Erhard

→エアハルト。ドイツの政治家。ナチス崩壊後アメリカ占領軍に起用された。１９４９年に経済相として西ドイツ経済を指導し、「奇跡的復興」を実現した。その指導理念「社会的市場経済」とは、自由市場経済と社会国家的配慮の結合を意味する。

 [KW] wage and price controls

 [KW] black markets

 [Q] Why did the black market disappear overnight after abolishing price controls?

→人々が買いだめをやめて、持っていた品物を売り始めたから。

**New Delhi, 1947**

 [KN] Mahatma Gandhi

→ガンディー。1869～1948．反英独立運動の先頭に立った。独特の宗教性の強い非暴力・不服従の無抵抗主義をとなえ、第二次世界大戦後にインド独立をかちとったが、その直後、狂信的なヒンドゥー教徒に暗殺された。

 [KN] Pandhit Nehru

→ネルー独立したインドの初代首相を務めた。

 [KW] state-led model of industrial growth

 [KW] public sector

→公企業：公企業は、国家または地方自治体によって所有され、経営される企業の特殊な形態である。私企業は利益を目的とする組織であるから、利益の出ないような事業分野へは進出しない。そこで、私企業のそうした営利性の限界を克服すべく非営利の経済事業組織として存在する。

<内容のまとめ>

　ネルーは貧困を、科学と技術を適用することによって解決しようとした。彼のもとで、計画経済（central planning）が、科学的な形となった。その結果、インドは新興国家にとって経済発展のモデルとなり、社会主義に傾倒する国が増えた。

 [KN] Prasanta Chandra Mahalanobis

**Chicago, 1950**

 [KW] Chicago School of economic

→シカゴ学派：経済問題の解決に際し、市場機構の有効性を前提とし、政府介入による方法を極力否定する経済学派。

 [Q] What was the fundamental belief of the famous Chicago School?

→政府の介入は最小限にし、自由市場に重点を置く。

 [KN] John F. Kennedy

→ケネディ大統領。対外的にはアメリカ合衆国の威信回復と平和、国内的には繁栄・福祉・人種平等をスローガンに掲げ、ニューフロンティア政策を推進した。

 [KW] Thirty Glorious Years

**Austria, 1970**

 [KW] stagflation

→景気停滞のもとで、物価が持続的に上昇している現象をあらわす造語。契機と物価のジレンマが起こり、解決が非常に難しい。

<内容のまとめ>

ハイエクの考えは、なかなか受け入れられなかった。

**USA, 1971**

 [Q] What is “stagflation”? Listen what Milton Friedman says.

→ケインズ経済学では起こるはずのないもの。高い失業率という経済の停滞と、価格の急上昇というインフレーションが同時に起こる。

 [KN] President Richard M. Nixon (1969-1974)

→1913～1994。深刻なドル危機の中で、これまでのようにアメリカの過剰な海外への介入を控えるという方針を発表した。米中関係改善を行ったり、ベトナム和平協定を締結したが、ウォーターゲート事件により辞任。

 [Q] What was the intention behind wage and price controls? What happened

when President Nixon imposed wage and price controls?

→失業とインフレーションを解決しようという意図のもと行われたが、経済の状態がさらに悪化した。インフレが制限されるどころか、不足が生まれた。

**London, 1973**

 [KN] Keith Joseph: “to revive the economy, Britain needed more risk-taking, which

mean more bankrupts and more millionaires, and less equality.”

 [KN] Margaret Thatcher

→イギリスの首相（在任：1979～1990）。戦後の福祉国家体制を批判して自由主義経済政策への転換に政策の重点を置き、82年のフォークランド戦争に勝った。

国民に自助努力を訴えて、労働組合に激しい攻撃を加え、「小さな政府」を目標にして、国有産業の民営化を進め、ロンドン株式市場を変革した。ハイエクの思想に影響を受けた。

関連語句：イギリス病→イギリス経済の停滞状況をあらわす言葉。サッチャーらはその原因を国有企業の非能率性、社会保障を維持するための重税、協力な労働組合によるストライキの頻発などだとして、小さな政府や自由競争の復活をはかった。

**Stockholm, 1974**

<内容のまとめ>

1974年は重要な変化の年だった。ハイエクがノーベル賞を受賞し、ケインズの思想からハイエクの思想に重点が置かれるようになっていく。

**Chicago 1974**

 [Q] According to Chicago School economists, what was the cause of high prices and

inflation?

→政府による強い規制。

**Washington, D.C., 1974**

 [Q] What were the consequences of airline regulations?

→パン・アメリカなどの巨大な飛行機会社が新参と競争する必要がなかった。価格で競争することが違法とされたので、旅行会社は互いにぜいたくな食事を出すことで競争しようとした。

 [KW] deregulation

→規制緩和。飛行機業界で規制緩和を行った結果、新しい会社が業界に参入しては去って行ったが、20年後には、業界は当時の２倍の人を雇い、約３倍の乗客を運ぶようになった。

 [Q] “As the prices went down, demand went up dramatically.”

Think about the way in which demand was increased. Which of the two classic giants—Smith and Marx—would have predicted this?

→スミス。

**Britain, 1979**

 [Q] What were the immediate consequences of Margaret Thatcher’s cut in

government spending and subsidies?

→何千もの銀行が倒産し、失業率が上昇した。

関連語句：新保守主義→1980年代、福祉国家政策を批判し、自由と市場経済への復帰により経済再建と強い国家をつくることを標榜する主張。イギリスのサッチャー政権、アメリカのレーガン政権にみることができる。日本の中曽根政権にもその一端を見ることができる。1970年代の石油危機や世界同時不況による財政危機・インフレを背景に登場した。

**USA, 1979**

 [KE] Revolution in Iran (1979)

→イラン革命：国王パフレヴィー2世の親米・独裁政治に対する革命。1979年にシーア派の最高指導者ホメイニが実権を握り、イスラーム的規律の復活など宗教色の濃い政策を強行した。イラン革命をきっかけにして起こった産油量の激減は、1973年を上回る石油危機を発生させ、西側世界を直撃した。

 [Q] According to Keynesian economics, why was a bit of inflation good?

→ちょっとしたインフレにより人々の需要が少し増え、経済が活性化するから。

 [KN] Ronald Reagan

→ケインズの思想に反対し、ハイエクとフリードマンの思想に賛成したアメリカ大統領。国内的には小さい政府を目指して行政改革を行い、自由競争を奨励し、社会福祉の縮小も行った。対外的には「強いアメリカ」を誇示して軍備を拡張し、ソ連との対決姿勢を強めた。アメリカ国民は「強いアメリカ」のイメージに満足したが、「双子の赤字」といわれる財政・貿易での赤字が拡大しアメリカは経済的にさらに弱体化した。

 [Q] How can we stop inflation?

→財政を縮小する。（一時的な不況は避けられない。）

 [Q] What did Reagan say “If not now, when? If not us, who?”

→皆、不景気は嫌で辛いが、インフレを止めるには今財政を縮小し痛みを乗り切るしかないということ。

 [Q] What did Reagan’s policies unleash?

→自由市場の建設的な基本的な力。

**Atlantic Ocean, 1982**

 [KE] The Falkland Islands conflict

→イギリス領フォークランド諸島を占領したアルゼンチン軍に対し、イギリスが陸海空軍を大挙出動させて奪回した戦争。これによりサッチャーは政権を継続できた。

 [KW] nationalization

国有化。

 [Q] Why were nationalized industries not efficient?

→国有化された産業は財務省の財源を自由に使えたから。（日本語が微妙かも。Because they had access to the Treasury purse.）

 [Q] Watch the miners’ union’s challenge. We are watching the power of society

here.

 [Q] According to Gordon Brown, Labor Finance Minister, what was the problem for

the left in the past?

→国有の公益を個人の規制と同一視し、それゆえ市場は公益にないのだと考える。

Chapter 19:The Battle Decided?

<内容のまとめ>

20世紀の初頭に小さな政府が正統と考えられていたが、世紀の半ばに政府が市場に介入するようになり、最後は再び小さな政府に戻った。そして、進歩的な思想が注目すべき点は、どのように市場の力を抑圧して対抗するかではなく、進歩的な目標を達成するためにどのように市場の力を利用するか、であろう。